

# 横浜市地球温暖化対策計画書制度 報告書等作成マニュアル

【3号該当事業者用】

横浜市脱炭素 GREEN×EXPO 推進局脱炭素マネジメント課



# 目次

第1章 作成の概要 .....	1
1.1 作成する書類 .....	1
1.2 作成の流れ .....	2
1.3 各シートの説明 .....	3
第2章 根拠算定資料の作成 .....	4
2.1 昨年度情報の呼び出し .....	4
2.2 車両台数の入力 .....	6
2.3 走行台数、距離、燃料補給量の入力 .....	8
2.4 二酸化炭素排出量等の確認 .....	10
第3章 報告書の作成 .....	12
第4章 提出書の作成 .....	26
第5章 評価の確認 .....	26
第6章 作成したデータ等の提出 .....	28

## 第1章 作成の概要

このマニュアルでは、地球温暖化対策計画書(計画書)、実施状況報告書(報告書)等の作成方法、提出方法を御紹介いたします。計画書や報告書の提出は、条例※に定められた義務です。期日(7月末)までの作成、提出をお願いいたします。

※:横浜市生活環境の保全等に関する条例

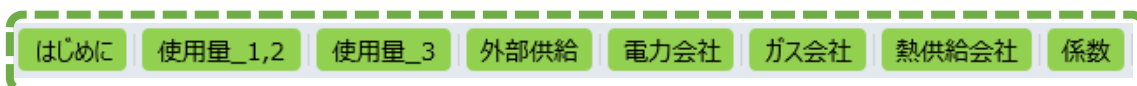
### 1.1 作成する書類

■ 提出様式(「2026hokoku\_youshiki.xlsx」)

■ シートの構成

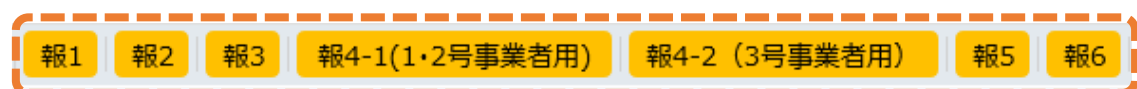
#### 根拠算定資料

※『使用量\_1, 2』シート、『外部供給』シート、『ガス会社』シート、『熱供給会社』シートは使用しません。



#### 報告書

※『報 4-1(1・2号事業者用)』シート、『報6』シートは使用しません。(第3号該当のみの事業者)



『報6』シートより右側のシートは記入不要です。



各シートの記入が完了すると入力された内容を反映した提出書と2025年度に提出した計画書の内容に基づく評価結果が表示されます。

## 1.2 作成の流れ

提出様式をダウンロードする。

**根拠算定資料** を作成





排出量等の算定根拠を作成するため、  
事業所別にエネルギー使用状況等を記入する。

**報告書** を作成

報告書に自動で数値が反映



根拠算定資料から反映された値・内容を確認しながら、  
状況・説明等を記入する。

### ■ 様式への入力ルール(セルの色分け)

	(黄色)	記入してください
	(白色)	昨年度情報や根拠算定結果が自動表示されます(参照式設定) セルに保護をかけているため書き換えはできません
	(緑色)	昨年度情報や根拠算定結果が自動表示されます(参照式設定) 変更がある場合は上書き修正してください
	(灰色)	記入対象外です

#### 【注 意】

緑色のセルには参照式が入っています。  
一度、新しい値を入力すると参照式は消え、  
新しく入力した値に置き換わります。  
入力値を消しても、前の値(参照式)には戻りません。

自動計算等を行う際に支障を来してしまうため、 (黄色)セル及び  (緑色)セルに数値等を入力する際は、絶対に切り取り操作(CTRL+X)は行わないようお願いします

## 1.3 各シートの説明

シート名	シートの概要
はじめに	事業者IDを入れ、過年度提出データを様式に表示させます
使用量_3	車両の走行距離及びエネルギー使用量を入力して、CO2排出量、エネルギー消費原単位を算定します
電力会社	小売電気事業者を検索して、排出係数を調べます(入力不要)
係数	燃料などの排出係数等を変更する場合のみ 使用します

シート名	項目
報1	1 地球温暖化対策事業者等の概要 2 計画期間及び実施年度 3 公表の方法
報2	4の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況
報3	5 クレジット等に関する取組状況 6 再生可能エネルギー利用設備の稼働状況 7 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)の導入状況
報4の2	8の3 基本対策の実施状況 8の4 重点対策の実施状況
報5	9 地球温暖化を防止する対策の取組事例 10 特記事項

## 第2章 根拠算定資料の作成

### 2.1 昨年度情報の呼び出し

#### 『はじめに』シート

#### 横浜市地球温暖化対策計画書制度 提出様式

2026 年度報告用(2025年4月～2026年3月の実績)

##### <昨年度情報の呼び出し>

- ・あらかじめ割り振られた事業者IDの下3桁を入力してください。  
(入力することで、昨年度に提出頂いたデータが記入様式に反映され、入力項目が削減します。)

事業者ID下3桁

999

①

事業者名称

株式会社 横浜

※昨年度報告の事業者名称が表示されます。

過去データ修正有無

修正ありません

②

事業者の状況変更

変更ありません

③

過去データ修正有無で「昨年度報告に修正があります」を選択した場合

過去データ修正有無

昨年度報告に修正があります

※昨年度報告に修正がある場合には、記入を進めず、まず、市にご連絡下さい。

事業者の状況変更で「事業者名称等に変更がありました」を選択した場合

※事業者名、代表者名、所在地の変更があった場合に選択してください。

事業者の状況変更

事業者名称等に変更がありました

③-1

緑色のセルで変更があった項目を修正して下さい

新事業者名称

株式会社 横浜

新代表者氏名

代表取締役社長 横浜 太郎

新所在地

神奈川県横浜市〇〇区××町■-△

#### 【注 意】

事業所名称、代表者指名、所在地のいずれかの項目のみを修正する場合であっても、修正のない項目含め全ての項目の入力が必要です。

## 2.1 昨年度情報の呼び出し

### 『はじめに』シート

#### ① 事業者 ID 下3桁

黄色セルに事業者 ID 下 3 桁を入力してください。

昨年度報告データが報告書等に緑色で表示され、入力が不要なセルは灰色で表示されます。

事業者 ID は右下のリストから選択して下さい。

#### ② 過去データ修正有無

初期値として「修正ありません」が表示されます。

修正が必要な場合は「昨年度報告に修正があります」を選択して下さい。

※昨年度報告に修正がある場合は作成を中断し、市にご連絡ください。

#### ③ 事業者の状況変更

初期値として「変更ありません」が表示されます。

「事業者名称等に変更がありました」を選択すると、新名称等の入力欄が表示されます。

※「旧事業者は消滅しました」及び「横浜市内から撤退しました」を選択した場合は、作業を中断し、市にご連絡ください。

#### ③-1 表示された入力欄に全ての項目を入力してください。

事業者名称、代表者氏名、所在地のいずれかの項目のみを修正する場合でも、修正のない項目含め全ての項目の入力が必要です。

## 2.2 車両台数の入力

### 『使用量 3』シート

#### 1 横浜市内における 2025年度の車両台数

1 横浜市内における2025年度の車両台数						2026年度提出用(2025年度実績値)	
横浜市内	① 2024年度 年度末所有車両 95 台 <small>(前年度提出用台数の増減 (上段)に記載した台数(新規事業者 の場合を除く。)</small>	② 新規台数 5 台	③-1 継続台数 95 台	④-1 走行ありの 95 台	④-2 走行なし 0 台	⑤ 年度末所有車両 100 台 <small>(今年度提出用台数等の 第1面に表示される台数 (a+c))</small>	
	減車台数 0 台		走行ありの 0 台	走行なし 0 台			
	③-2 継続台数 5 台		走行ありの 5 台	走行なし 0 台			
	減車台数 0 台		走行ありの 0 台	走行なし 0 台			
	(参考) 軽自動車					⑥ 走行台数 100 台 <small>(①+②+③+④)</small>	
						⑦ 年度末所有車両 (軽自動車) 20 台	

## 1 横浜市内における 2025年度の車両台数

### ① 2024年度の年度末所有車両

2024年度の年度末所有車両の台数は、昨年度情報が自動表示されます。  
変更がある場合は上書き修正してください。

### ② 新規台数

2025年度に新規に導入した車両の台数を入力してください。

### ③ 継続台数・減車台数

③-1 ①で入力した2024年度末の所有車両台数のうち、減車台数を入力してください。継続台数は自動計算されます。

③-2 ②で入力した新規台数のうち、減車台数を入力してください。継続台数は自動計算されます。

### ④ 2025年度の走行有無

④-1 ③-1、③-2で入力・表示された台数のうち、2025年度に走行した車両の台数を入力してください。

④-2 2025年度に走行しなかった車両の台数が自動計算されます。

### ⑤ 2025年度の年度末所有車両

③-1、③-2で自動計算された継続台数の合計値が表示されます。

### ⑥ 2025年度の走行台数

④-1で入力した、2025年度に走行した車両台数の合計値が表示されます。

### ⑦ 2025年度の年度末所有車両(軽自動車)

2025年度の年度末時点で所有している軽自動車の台数を入力してください。

#### 2025年度の報告書より新たに追加された項目

- 年度末所有台数(軽自動車)

## 2.3 走行台数、距離、燃料補給量の入力

『使用量 3』シート及び『電力会社』シート

【注 意】

単位に注意してください。

2 2025 年度に走行した車両の走行距離

『使用量 3』シート

2 2025年度に走行した車両の走行距離					
注意:2025年度中に減車(廃止)した車両(走行あり)を含みます。					
燃料の種類	走行台数(台/年)	走行距離(km/年)		燃料補給量( /年)	燃費(km/ )
		(a)	(b)		
ガソリン	8	240,000	20,000	L	12.0000 km/L
軽油				L	km/L
天然ガス	2	60,000	10,000	m <sup>3</sup>	6.0000 km/m <sup>3</sup>
LPG				L	km/L
水素				kg	km/kg
バイオエタノール				L	km/L
バイオディーゼル				L	km/L
登録番号+メーカーレックス(株)	2	60,000	10000	kWh	6.0000 km/kWh
登録番号+メニュー				kWh	km/kWh
登録番号+メニュー				kWh	km/kWh
登録番号+メニュー				kWh	km/kWh
登録番号+メニュー				kWh	km/kWh
合計	12	360,000			
走行台数(検査用)	12				検査用の値と走行台数の合計値が一致

『電力会社』シート

登録番号	電気事業者名	基礎排出係数(t-CO2/kWh)	調整後排出係数(t-CO2/kWh)
A0002	レックス(株)	0.000483	0.000441
A0003	リエスパワー(株)	0.000463	0.000000
A0004_メニューA	エバーグリーン・リテイリング(株)	0.000492	0.000000
A0004_メニューB(残差)	エバーグリーン・リテイリング(株)	0.000492	0.000437
A0004(参考値)事業者全体	エバーグリーン・リテイリング(株)	0.000492	0.000436
A0006_メニューA	エバーグリーン・マーケティング(株)	0.000354	0.000000
A0006_メニューB(残差)	エバーグリーン・マーケティング(株)	0.000354	0.000418
A0006(参考値)事業者全体	エバーグリーン・マーケティング(株)	0.000354	0.000392
A0007	株式会社WINGS	0.000257	0.000372
A0008	イーセル	0.000481	0.000426
A0009_メニューA	株江ネット	0.000405	0.000000
A0009_メニューB	株江ネット	0.000405	0.000000
A0009_メニューC	株江ネット	0.000405	0.000300
A0009_メニューD	株江ネット	0.000405	0.000349
A0009_メニューE	株江ネット	0.000405	0.000370
A0009_メニューF(残差)	株江ネット	0.000405	0.000367
A0009(参考値)事業者全体	株江ネット	0.000405	0.000325
A0011_メニューA	埼玉川瓦斯(株)	0.000408	0.000000
A0011_メニューB(残差)	埼玉川瓦斯(株)	0.000408	0.000418
A0011(参考値)事業者全体	埼玉川瓦斯(株)	0.000408	0.000417
A0012_メニューA	出光興産(株)	0.000302	0.000000
A0012_メニューB	出光興産(株)	0.000302	0.000000
A0012_メニューC	出光興産(株)	0.000302	0.000199
A0012_メニューD(残差)	出光興産(株)	0.000302	0.000476
A0012(参考値)事業者全体	出光興産(株)	0.000302	0.000470
A0013_メニューA	株式会社ジョ	0.000500	0.000000

【間違いやすいポイント】

同じ電力会社でも電力メニューは多岐にわたります。一般的な契約プランの場合は、「(残差)」と記載される電力メニューを選択してください。CO2フリーメニュー(排出係数0)にて調達した電力については、適合するメニュー(赤文字緑色セルにて表示)を選択してください。

## 2 2025 年度に走行した車両の走行距離

※注意:2025 年度中に減車(廃止)した車両(走行あり)を含みます。

- ① 2025 年度の「走行台数」を、燃料の種類ごとにまとめて入力してください。
- ② 2025 年度に走行した車両の「走行距離」を、燃料の種類ごとにまとめて入力してください。
- ③ 2025 年度に走行した車両の「燃料補給量」を、燃料の種類ごとにまとめて入力してください。
- ④-1 『電力会社』シートで、購入先電力会社(メニューがある場合はメニュー別)を検索し、「登録番号+メニュー」をコピーしてください。
- ④-2 ④-1 でコピーした文字列を『使用量 3』シートの「登録番号+メニュー」欄に貼り付けてください。
- ④-3 電気事業者の選び出しには、オートフィルター機能を使用して検索してください。詳しい方法は、『電力会社』シートに記載していますので、ご参照ください。
- ⑤ 「走行台数」、「走行距離」、「電気の使用量」を、電力会社ごとにまとめて入力してください。
- ⑥ ①で入力した「走行台数」の合計値と、前項⑤の「2025 年度の走行台数」が表示されますので、台数が一致するか確認してください。

### 2025 年度の報告書より新たに追加された項目

- バイオエタノール
- バイオディーゼル

## 2.4 二酸化炭素排出量等の確認

### 『使用量 3』シート

#### 3 2025 年度の二酸化炭素排出量等

3 2024年度の二酸化炭素排出量等						
	二酸化炭素排出の 合計量 (tCO2)		エネルギー消費量の 合計値 (k)	エネルギー消費原単位の指標		エネルギー消費原単位 (kl/★) (有効数字四桁)
	基礎	調整後		走行距離 量	単位★	
実績値	78	73	32	790	千km	0.04051
残差等	78	76				

①

②

③

#### 排出係数等を変更する場合

### 『係数』シート

排出係数の設定															
1 基礎情報 ※標準の設定から変更する場合															
(1) 排出係数と、電気の発熱量の設定(標準の設定から変更する場合)															
エネルギーの種類	単位発熱量		排出係数				CO <sub>2</sub> 換算								
	単位	分母単位	基礎	調整後	基礎(残差)	調整後(残差)	単位	基礎	調整後	基礎(残差)	調整後(残差)	単位			
燃料	原油(コンデンセートを除く)	38.3	GJ/kL	kl	0.0190	0.0190	0.0190	0.0190	10/GJ	2.67	2.67	2.67	2.67	tCO <sub>2</sub> /kL	
	原油のうちコンデンセート(NGL)	34.8	GJ/kL	kl	0.0183	0.0183	0.0183	0.0183	10/GJ	2.34	2.34	2.34	2.34	tCO <sub>2</sub> /kL	
	揮発油(ガソリン)	33.4	GJ/kL	kl	0.0187	0.0187	0.0187	0.0187	10/GJ	2.29	2.29	2.29	2.29	tCO <sub>2</sub> /kL	
	ナフサ	33.3	GJ/kL	kl	0.0186	0.0186	0.0186	0.0186	10/GJ	2.27	2.27	2.27	2.27	tCO <sub>2</sub> /kL	
	ジェット燃料油	36.3	GJ/kL	kl	0.0186	0.0186	0.0186	0.0186	10/GJ	2.48	2.48	2.48	2.48	tCO <sub>2</sub> /kL	
	灯油	36.5	GJ/kL	kl	0.0187	0.0187	0.0187	0.0187	10/GJ	2.50	2.50	2.50	2.50	tCO <sub>2</sub> /kL	
	軽油	38.0	GJ/kL	kl	0.0188	0.0188	0.0188	0.0188	10/GJ	2.62	2.62	2.62	2.62	tCO <sub>2</sub> /kL	
	A重油	38.9	GJ/kL	kl	0.0193	0.0193	0.0193	0.0193	10/GJ	2.75	2.75	2.75	2.75	tCO <sub>2</sub> /kL	
	B・C重油	41.8	GJ/kL	kl	0.0202	0.0202	0.0202	0.0202	10/GJ	3.10	3.10	3.10	3.10	tCO <sub>2</sub> /kL	
	石油アスファルト	40.0	GJ/t	t	0.0204	0.0204	0.0204	0.0204	10/GJ	2.99	2.99	2.99	2.99	tCO <sub>2</sub> /t	
	石油コークス	34.1	GJ/t	t	0.0245	0.0245	0.0245	0.0245	10/GJ	3.06	3.06	3.06	3.06	tCO <sub>2</sub> /t	
	石油ガス	50.1	GJ/t	t	0.0163	0.0163	0.0163	0.0163	10/GJ	2.99	2.99	2.99	2.99	tCO <sub>2</sub> /t	
		液化石油ガス(LPG)	46.1	GJ/千m <sup>3</sup>	千m <sup>3</sup>	0.0144	0.0144	0.0144	0.0144	10/GJ	2.43	2.43	2.43	2.43	tCO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>
		石油系炭化水素ガス	54.7	GJ/t	t	0.0139	0.0139	0.0139	0.0139	10/GJ	2.79	2.79	2.79	2.79	tCO <sub>2</sub> /t
	可燃性天然ガス	38.4	GJ/千m <sup>3</sup>	千m <sup>3</sup>	0.0139	0.0139	0.0139	0.0139	10/GJ	1.96	1.96	1.96	1.96	tCO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>	
	その他可燃性天然ガス	28.7	GJ/t	t	0.0246	0.0246	0.0246	0.0246	10/GJ	2.59	2.59	2.59	2.59	tCO <sub>2</sub> /t	
	石炭	輸入原料炭	28.9	GJ/t	t	0.0245	0.0245	0.0245	0.0245	10/GJ	2.60	2.60	2.60	2.60	tCO <sub>2</sub> /t
		コークス用原料炭	28.3	GJ/t	t	0.0251	0.0251	0.0251	0.0251	10/GJ	2.60	2.60	2.60	2.60	tCO <sub>2</sub> /t
		吹込用原料炭	26.1	GJ/t	t	0.0243	0.0243	0.0243	0.0243	10/GJ	2.33	2.33	2.33	2.33	tCO <sub>2</sub> /t
		輸入一般炭	24.2	GJ/t	t	0.0242	0.0242	0.0242	0.0242	10/GJ	2.15	2.15	2.15	2.15	tCO <sub>2</sub> /t
国産一般炭		27.8	GJ/t	t	0.0259	0.0259	0.0259	0.0259	10/GJ	2.64	2.64	2.64	2.64	tCO <sub>2</sub> /t	
輸入無煙炭		29.0	GJ/t	t	0.0299	0.0299	0.0299	0.0299	10/GJ	3.18	3.18	3.18	3.18	tCO <sub>2</sub> /t	
石炭コークス	37.3	GJ/t	t	0.0209	0.0209	0.0209	0.0209	10/GJ	2.86	2.86	2.86	2.86	tCO <sub>2</sub> /t		
コークス炉ガス	18.4	GJ/千m <sup>3</sup>	千m <sup>3</sup>	0.0109	0.0109	0.0109	0.0109	10/GJ	0.74	0.74	0.74	0.74	tCO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>		
高炉ガス	3.23	GJ/千m <sup>3</sup>	千m <sup>3</sup>	0.0264	0.0264	0.0264	0.0264	10/GJ	0.31	0.31	0.31	0.31	tCO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>		
発電用高炉ガス	3.45	GJ/千m <sup>3</sup>	千m <sup>3</sup>	0.0264	0.0264	0.0264	0.0264	10/GJ	0.33	0.33	0.33	0.33	tCO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>		

## 『使用量3』シート

### 3 2025年度の二酸化炭素排出量等【入力不要】

- ① 入力した燃料の使用量から、「二酸化炭素排出量の合計値」及び「エネルギー消費量の合計値」が自動計算されます。
- ② 「走行距離」を指標とした「エネルギー消費原単位」が自動計算されます。

#### 2025年度の報告書より原単位について変更された内容

- 原単位をエネルギー使用量に変更  
(従来はCO2量)

### 排出係数等を変更する場合

#### 『係数』シート

『係数』シートは、燃料などの排出係数等を変更する場合や、電気の発熱量を標準設定から変更する場合のみ使用します。

なお、黄色セル、緑色セルのみ変更可能です。

# 第3章 報告書の作成

## 『報1』シート

【間違いやすいポイント】  
提出日を忘れず入力してください。

細則第88号様式（第2条第49号）  
（総括票）

地球温暖化対策実施状況報告書

① 事業者ID 13XXXX

② 2026年 7月 30日

（提出先）  
横浜市長

住所 神奈川県横浜市〇〇区××町■-△

③ 氏名 株式会社 横浜  
代表取締役社長 横浜 太郎

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり提出します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の名称及び代表者の氏名	株式会社 横浜 代表取締役社長 横浜 太郎		④
主たる事業所の所在地	神奈川県横浜市〇〇区××町■-△		⑤
主たる事業の業種	大分類	S 公務（他に分類されるものを除く）	⑥
	中分類	98 地方公務	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 条例施行規則第89条第1項第1号該当事業者		⑦
	<input type="checkbox"/> 条例施行規則第89条第1項第2号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 条例施行規則第89条第1項第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 条例第144条の4該当事業者（任意提出事業者）	<input type="checkbox"/> 1・2号 <input type="checkbox"/> 3号事業者	
原 油 換 算 エ ネ ル ギ ー 使 用 量	29,212	kl	⑧
	市内全事業所数 10 事業所		
	原油換算エネルギー使用量が500kl以上の事業所数 8 事業所		
自 動 車 の 台 数	100	台	

2 計画期間及び実施年度

⑨-1 計 画 期 間 2025 年度 ~ 2027 年度

⑨-2 実 施 年 度 2024 年度

3 公表の方法

<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ	アドレス	<a href="http://www.xxxx.co.jp/csr/kankyo.html">http://www.xxxx.co.jp/csr/kankyo.html</a>	⑩
<input type="checkbox"/> 窓口で閲覧	閲覧場所		
	所在地		
	閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> その他			

## 『報1』シート

黄色セル 記入してください。

緑色セル 事業者 ID に応じて昨年度情報を表示しています。変更がある場合は上書き修正してください。

- ① 事業者 ID は、『はじめに』シートから自動でデータが反映されます。**【入力不要】**
- ② 電子申請システムで提出する日付を入力してください。**【入力必要】**
- ③ 事業者の名称、代表者氏名等に変更があった場合は、P4「はじめに」シートの③事業者の状況変更にて変更があった項目等を入力してください。**【自動表示】**  
代表者から権限を委任されている者が提出する場合は、委任状を添付した上で、本欄を受任者の住所・氏名等に修正してください。前年度までに委任状を提出しており、代表者及び受任者に変更がない場合は提出不要です。

### 1 地球温暖化対策事業者等の概要

- ④ 修正が必要な場合は、事業者の名称及び代表者の氏名を入力してください。**【自動表示】** ※「旧:」等の表記は不要です。
- ⑤ 修正が必要な場合は、本社の所在地を入力してください。**【自動表示】**  
本社が市外にある場合は、その所在地を入力してください。
- ⑥ 修正が必要な場合は、主たる事業の業種をプルダウンリストから選択してください。**【自動表示】**主たる事業の業種については日本標準産業分類をご参照ください。
- ⑦ 修正が必要な場合は、該当する事業者の要件を選択してください。**【自動表示】**  
実施年度に要件(原油換算エネルギー使用量が 1,500kL 以上、または市内自動車台数 100 台以上)に該当しなくなった場合であっても、計画期間中は任意提出事業者とはなりませんのでご注意ください。
- ⑧ 『使用量 3』シートから、実施年度における各値が反映されます。**【自動表示】**

### 2 計画期間及び実施年度

- ⑨-1 提出済みの計画書に記載した期間を入力済みです。**【入力不要】**  
なお、「年度」は、4月1日から翌年3月 31 日までを指します。
- ⑨-2 提出前年度を入力済みです。**【入力不要】**

### 3 公表の方法

- ⑩ 報告書の公表方法を選択してください。  
広く公表できるよう、ホームページによる公表を推奨します。  
窓口での閲覧の場合、所在地は、市内事業所ではない場所(市外の本社等)も可能です。

『報2』シート

4の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況(第3号該当事業者)

4の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況(第3号該当事業者)		特定温室効果ガス排出量	削減率	エネルギー消費原単位	
基準年度 (2024年度)	基礎 ①	47,528 (47,528) t-CO <sub>2</sub>	②	0.04 k1/ 千km	
	調整後	40,560 (36,660) t-CO <sub>2</sub>			
目標年度 (2027年度)	基礎	46,000 t-CO <sub>2</sub>	3.2 %	0.04 k1/ 千km	
	調整後	39,000 t-CO <sub>2</sub>	3.8 %	削減率	1.3 %
第一年度 (2025年度)	基礎	t-CO <sub>2</sub>	%	k1/	
	調整後	t-CO <sub>2</sub>	%	削減率	%
第二年度 (2026年度)	基礎	t-CO <sub>2</sub>	%	k1/	
	調整後	t-CO <sub>2</sub>	%	削減率	%
第三年度 (2027年度)	基礎	t-CO <sub>2</sub>	%	k1/	
	調整後	t-CO <sub>2</sub>	%	削減率	%
実施年度の振り返り (2025年度)	事業活動量	○ 増      ○ ほぼ変動無し      ● 減			
	自由記述欄	運用対策の徹底や照明設備のLED化を推進した。			

## 『報2』シート

### 4の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況(第3号該当事業者)

#### ① 特定温室効果ガス排出量【入力不要】

##### ・基準年度、目標年度

提出済みの計画書に記載された値を入力済みです。

※変更がある場合は、市担当者へ御連絡ください。

##### ・第一年度、第二年度、第三年度 基礎

過年度に報告いただいた値を入力済みです。

実施年度の値は、『使用量3シート』から反映され、実施年度に使用した、すべての自動車のエネルギー使用に係る排出量(電気の場合は基礎排出係数を使用)の合計から「5クレジット等に関する取組状況」の「特定温室効果ガス削減相当量」を差し引いた値が表示されます。

年度途中で抹消・移転・変更を行った自動車も含めて排出量を算定します。

レンタカー事業者の保有する自動車は、自動車を借り受ける人が燃料補充の上、返還するケース(満タン返し)が多いと想定されます。このように燃料使用量の把握が困難な場合には、走行距離(km)を燃費(km/L)で除した値を燃料使用量として排出量を算定します。

使用量3シートを使用しない場合は、市担当者へ御連絡ください。

##### ・第一年度、第二年度、第三年度 調整後

過年度に報告いただいた値を入力済みです。

実施年度の値は、『使用量3シート』から反映され、実施年度に使用した、すべての自動車のエネルギー使用に係る排出量(電気、ガス、熱の場合は調整後排出係数を使用)の合計から、「5クレジット等に関する取組状況」の「特定温室効果ガス削減相当量」を差し引いた値が表示されます。

使用量3シートを使用しないせずに排出量を算定した場合は、市担当者へ御連絡ください。

#### ② 削減率【入力不要】

特定温室効果ガス排出量の削減率が、以下の通り自動計算されます。

削減率 = (基準年度の排出量 - 当該年度の排出量) / 基準年度の排出量 × 100

なお、計算途中は各項目の端数処理後の数値で計算し、算出結果の小数第2位を四捨五入し、小数第1位までの値が表示されます。

『報2』シート

4の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況(第3号該当事業者)

4の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況(第3号該当事業者) ①					
	特定温室効果ガス排出量		削減率	エネルギー消費原単位	
	基準年度 (2024年度)	基礎 47,528 (47,528) t-CO <sub>2</sub>		調整後 40,560 (36,660) t-CO <sub>2</sub>	
目標年度 (2027年度)	基礎 46,000 t-CO <sub>2</sub>	調整後 39,000 t-CO <sub>2</sub>	3.2 %	0.04 kl/ 千km	削減率 1.3 %
第一年度 (2025年度)	基礎	t-CO <sub>2</sub>	%	kl/	削減率 %
	調整後	t-CO <sub>2</sub>	%	削減率	%
第二年度 (2026年度)	基礎	t-CO <sub>2</sub>	%	kl/	削減率 %
	調整後	t-CO <sub>2</sub>	%	削減率	%
第三年度 (2027年度)	基礎	t-CO <sub>2</sub>	%	kl/	削減率 %
	調整後	t-CO <sub>2</sub>	%	削減率	%
実施年度の振り返り (2025年度)	事業活動量	○ 増      ○ ほぼ変動無し      ● 減 ②			
	自由記述欄	運用対策の徹底や照明設備のLED化を推進した。 ③			

【間違いやすいポイント】  
事業活動量を忘れず入力してください。

## 『報2』シート

### 4の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況(第3号該当事業者)

#### ① エネルギー消費原単位 【入力不要】

##### ・基準年度、目標年度

提出済みの計画書に記載された値を入力済みです。

すでに提出済みの計画書において、目標設定がない場合は空欄です。

※変更がある場合は、市担当者へ御連絡ください。

##### ・第一年度、第二年度、第三年度

過年度に報告いただいた値を入力済みです。(実施年度の値は、「使用量3シート」を記入することで、エネルギー消費原単位が自動表示されます。)

##### ・削減率

エネルギー消費原単位の削減率が、以下の通り自動計算されます。

削減率 = (基準年度の前単位 - 当該年度の前単位) / 基準年度の前単位 × 100

なお、計算途中は各項目の端数処理後の数値で計算し、算出結果の小数第2位を四捨五入し、小数第1位までの値が表示されます。

#### ② 実施年度における事業活動量 【入力必要】

「増」「ほぼ変動なし」「減」のいずれかから選択してください。

#### ③ ③で選択した事業活動量の要因について、省エネ取組の有無や事業活動量の増減を含め、具体的に記入してください。【入力必要】

#### 2025年度の報告書から変更された項目

- 排出原単位 → エネルギー消費原単位
- 目標の進捗及び達成状況の説明 → 実施年度の振り返り

『報3』シート

5 クレジット等に関する取組状況

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

5 クレジット等に関する取組状況

番号	クレジット等の名称	特定温室効果ガス削減相当量 [t-CO <sub>2</sub> ]	換算電力量	再エネ指定
1	FIT非化石証書	22	50000 kWh	○
2				
3	①	②	③	④
4				
5				

『報3』シート

5 クレジット等に関する取組状況 **【該当ある場合は入力必要】**

- ① 実施年度に取得したクレジット等をプルダウンリストから選択してください。  
**選択したクレジット等の概要を示した資料(認証削減量や内容などが確認できるもの)を提出してください。**

プルダウンで選択できるクレジットは、次の表の通りです。表中にないクレジットを記載する場合は、市へ削減相当量の換算方法を御相談ください。

クレジット等の名称
J-クレジット_再エネ電力由来
J-クレジット_再エネ熱由来
J-クレジット_その他
グリーン電力証書
グリーン熱証書
FIT 非化石証書
非FIT 非化石証書(再エネ指定あり)
非FIT 非化石証書(再エネ指定なし)

- ② 認証された削減量を入力してください。  
 ①で電力量に関するクレジットを選択した場合は、以下の計算式により特定温室効果ガス削減相当量へ変換して入力してください。

電力量に関するクレジットによる「特定温室効果ガス削減相当量」  
 = 換算電力量(kWh) × 全国平均係数(t-CO<sub>2</sub>/kWh) × 補正率

全国平均係数(t-CO <sub>2</sub> /kWh)	0.000423
FIT補正率	1.01
非FIT補正率	1.01

※なお、**非化石証書による「特定温室効果ガス削減相当量」は、電気の使用に伴う排出量が上限となります。**

- ③ ①で電力量に関するクレジットを選択した場合は、クレジットの換算電力量を入力してください。
- ④ ③で入力した換算電力量の単位をプルダウンリストから選択してください。  
 プルダウンリストで選択できる単位の種類は、「kWh」、「千 kWh」です。

『報3』シート

6 再生可能エネルギー利用設備の稼働状況

番号	設備機器の種類	導入年度	設備機器の性能	発電等の実績	単位
1	太陽光発電	2022年度	3ヵ所、総発電容量250kW	年間発電量：30万kWh	kWh
2		年度			
3	①	②年度	③	④	⑤
4		年度			
5		年度			

7 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)の導入状況

種別⑥		電気自動車	プラグインハイブリッド自動車	燃料電池自動車	ハイブリッド自動車	合計	保有割合 (第3号該当事業者)
保有台数	事業用	10	15	15	0	40	50.0 %
	自家用	0	0	0	0	0	
	軽自動車	20	0	0	0	20	
	合計	30	15	15	0	60	

【間違いやすいポイント】

保有していない場合は空欄にせず、「0(ゼロ)」を入力してください。

## 『報3』シート

### 6 再生可能エネルギー利用設備の稼働状況 **【該当ある場合は入力必要】**

- ① 実施年度に導入済みの再生可能エネルギー利用設備機器の種類を、プルダウンリストから選択してください。

プルダウンリストで選択できる設備機器の種類は、以下の表の通りです。

再生可能エネルギー利用設備機器の種類	
太陽光発電	地熱発電
風力発電	太陽熱利用
バイオマス	地中熱利用
水力発電	

※実施年度に稼働している設備であれば、計画期間以前に導入した設備機器も記載可能です。該当する設備が6種類以上ある場合は、実施年度に導入した設備を優先して記載してください。

- ② ①で選択した設備機器を導入した年度を入力してください。
- ③ ①で選択した設備機器の型式や定格能力などを入力してください。
- ④ 実施年度の発電又は生産熱量等の実績を入力してください。  
稼働実績から算定される排出抑制効果を記載することも可能です。
- ⑤ ④で入力した実績の単位をプルダウンリストから選択してください。  
プルダウンリストで選択できる単位の種類は、「kWh」、「千 kWh」、「MJ」、「J」です。

### 7 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)の導入状況

#### **【入力必要】**

- ⑥ 昨年度情報を表示しています。変更がある場合は上書き修正してください。  
3月31日時点で保有している次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)を、自動車種別に記入してください。  
保有していない場合は、「0(ゼロ)」を入力してください。

#### 2025年度の報告書から新たに追加された項目

- 種別:ハイブリッド自動車

#### 変更された項目

- 保有台数の入力欄を細分化(自家用、事業用、軽自動車)

『報 4-2』シート

8の3 基本対策の実施状況(第3号該当事業者)

細則第38号様式(第2条第49号)  
(総括票)

8の3 基本対策の実施状況(第3号該当事業者)

基本対策	対策の内容					
1 推進体制の整備	<input checked="" type="radio"/> 実施済	<input type="radio"/> 一部実施済	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 非該当	
2 自動車の適正な使用管理	<input checked="" type="radio"/> 実施済	<input type="radio"/> 一部実施済	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 非該当	
3 エネルギー使用量等に関するデータの管理	<input type="radio"/> 実施済	<input type="radio"/> 一部実施済	<input checked="" type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 非該当	
4 エコドライブ推進体制の整備	<input type="radio"/> 実施済	<input checked="" type="radio"/> 一部実施済	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 非該当	
5 自動車の適正な維持管理	<input type="radio"/> 実施済	<input checked="" type="radio"/> 一部実施済	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 非該当	

8の4 重点対策の実施状況(第3号該当事業者)

①

8の4 重点対策の実施状況(第3号該当事業者)

重点対策	対策の内容	実施状況	備考
1 脱炭素経営に関する取組の実施	①SBT ②RE100 ③RE Action ④GXリーグへの参画 ⑤グリーン経営認証 ⑥その他横浜市が認めた脱炭素経営に関する取組 上記①から⑥のいずれかの取組に参画等している。	<input checked="" type="checkbox"/> SBT <input type="checkbox"/> RE100 <input type="checkbox"/> RE Action <input type="checkbox"/> GXリーグ <input type="checkbox"/> グリーン経営認証 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 未実施	
2 サプライチェーン排出量の削減計画の策定	①サプライチェーン排出量を算定している。 ②サプライチェーン排出量の削減目標を設定している。 ③サプライチェーン排出量の削減目標を達成するための施策を立案している。	<input type="radio"/> 実施済 <input checked="" type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施	
3 脱炭素に向けた調達方針の策定	①サプライヤーに対する調達方針を策定し、公表している。 ②サプライヤーに対する調達方針に沿って調達している。	<input type="radio"/> 実施済 <input checked="" type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施	
4 環境配慮製品・サービス等の開発・製造及び提供	①地球温暖化対策に寄与する環境配慮製品・サービス等の製造・提供等を行っている。 ② ①の製品・サービス等が地球温暖化対策に貢献できる二酸化炭素量を推計している。 ③地球温暖化対策に寄与する環境配慮製品等を研究・開発する事業に参画している。	<input type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input checked="" type="radio"/> 未実施	
5 エネルギー消費効率の高い建築物の導入	①ZEBに適合した建築物、またはZEBに準拠した建築物を保有している。 ②ZEBに適合した建築物、またはZEBに準拠した建築物にテナントとして入居している。	<input type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input checked="" type="radio"/> 未実施	
6 サステナブルファイナンスの実施	①サステナビリティ・リンク・ローン又はグリーンローンの融資を受けている。 ②サステナビリティ・リンク・ボンド又はグリーンボンドの債券を発行している。	<input type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input checked="" type="radio"/> 未実施	
7 LED照明の導入	①事業所に設置する照明器具をLED照明としている。	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施	

## 『報 4-2』シート

8の3 基本対策の実施状況(第3号該当事業者)

8の4 重点対策の実施状況(第3号該当事業者)

- ① 対策ごとに、実施年度の実施状況を選択してください。  
補足事項などございましたら備考欄に記入してください。

「1 脱炭素経営に関する取組の実施」でその他を選択した場合は、備考欄に参画等  
をしている対策について記載してください。

状況の判断については、別途定める解説資料をご参照ください。

- ・基本対策解説 [「基本対策について」](#)
- ・重点対策解説 [「新たな重点対策について」](#)

※重点対策に関する根拠資料の提出は不要です。

2025年度に提出いただいた計画書の内容がシートの右側に表示していますので、  
参考に実施状況を記入してください。

### 2025年度の報告書から変更された項目

- 重点対策の項目を一新
- 従来の重点対策の名称を「基本対策」に変更

『報5』シート

9 地球温暖化を防止する対策の取組事例

細則第38号様式（第2条第48号）  
 （総括票）  
 9 地球温暖化を防止する対策の取組事例

番号	対策分類	具体的な取り組み事例
1	森林整備	神奈川県内に森林を保有し、持続可能な森林づくりを推進している。
2	地域貢献	上記の森林において、地域住民や学校と協力して植樹活動や自然観察会を行っている。
3	①	②
4		
5		

10 特記事項

10 特記事項

当社では、2050年を見据えた気候変動政策に基づき、2030年度までに温室効果ガス排出量を2013年度比30%以上削減します。2050年には「実質ゼロ」を目指し活動を推進していきます。 ③

## 『報5』シート

### 9 地球温暖化を防止する対策の取組事例

- ① 実施年度において実施した、地球温暖化を防止する対策の対策分類をプルダウンリストから選択してください。  
プルダウンリストで選択できる対策分類は、以下の表の通りです。

対策分類の種類	
省エネ(運用)	環境配慮製品・サービス
省エネ(設備)	社内環境研修
廃棄物	地域貢献
フロン	その他
森林整備	

- ② 実施年度において実施した、地球温暖化を防止する対策の具体的な取り組み内容を記載してください。特に具体的な削減量を記載できるような取組であれば、積極的にご記入ください。

### 10 特記事項

- ③ 必要に応じて、以下の内容を記載してください。
- (1) 貴社の環境に関する取組方針等  
環境の保全に関する取組方針や社会貢献活動等について自由に記載することができます。
- (2) 提出済みの計画書及び報告書の変更内容  
すでに提出済みの計画書や報告書に変更が生じた場合は、市の担当者との協議の上、変更内容を記載してください。

## 第4章 提出書の作成

### 『提』シート

細則第37号様式の2（第2条第48号の2）

地球温暖化対策計画書提出書兼  
地球温暖化対策実施状況報告書提出書

（提出先）2026年 7月 30日  
横浜市長

住所 神奈川県横浜市〇〇区××町■-△  
株式会社 横浜  
氏名  
代表取締役社長 横浜 太郎  
(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

横浜市生活環境の保全等に関する条例第144条第1項及び第2項の規定により、  
別添の通り地球温暖化対策計画書兼地球温暖化対策実施状況報告書を提出します。

## 第5章 評価の確認

### 『評価』シート

評価結果

**1 基礎情報**

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">事業者名</td> <td>株式会社 横浜</td> </tr> <tr> <td>評価対象</td> <td>計画書</td> </tr> </table>	事業者名	株式会社 横浜	評価対象	計画書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>部門</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">1、2号</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">○</td> <td>業務部門</td> </tr> <tr> <td>3号</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>運輸部門</td> </tr> </tbody> </table>	区分		部門	1、2号	○	業務部門	3号	○	運輸部門
事業者名	株式会社 横浜													
評価対象	計画書													
区分		部門												
1、2号	○	業務部門												
3号	○	運輸部門												

**2 評価結果**

【1、2号】

項目		第一年度	第二年度	第三年度	目標年度 (2027年度)
計画書	削減目標の設定状況	基礎			B
		調整後			B
	基本対策の実施状況及び計画	-			A
	重点対策の実施状況及び計画	-			A+
報告書	排出量削減率	基礎			

## 『提』シート

報告書等に入力いただいた情報から自動作成されます。記入の必要はありません。

【入力不要】

## 『評価』シート

入力いただいた報告書、計画書の評価を確認することができます。【入力不要】

## 第6章 作成したデータ等の提出

作成したデータ等を、横浜市電子申請・届出システムで提出してください。

以下の資料が対象となる場合には、添付資料として提出してください

- ・クレジット等の認証削減量の写し
- ・委任状(代表者と提出者が異なる場合※)

※前年度までに委任状を提出済で、代表者及び受任者に変更がない場合は提出不要

### 【提出先】

横浜市電子申請・届出システム

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/f8fd1056-e75a-489c-850a-d21bb7c278ec/start>



※電子申請システムで提出できない場合は個別にご相談ください。

連絡先: 横浜市 脱炭素・GREEN×EXPO推進局 脱炭素マネジメント課 計画書制度担当

電話番号: 045-671-4224

電子メール: da-keikakusho@city.yokohama.lg.jp

副本が必要な方は、所定額の切手を貼った返信用封筒を同封の上、紙媒体を窓口へ持参もしくは郵送してください。

### 非公表事項に関する取扱い（事前にご相談ください）

- 計画書等の記載内容で、公表することにより、事業者の競争上の地位その他正当な利益を害するおそれのある事項が含まれる場合については、非公表とする旨を市に請求することができます。
- その請求に関して市が妥当と認めた場合に、当該事項を非公表とします。